

会議録

会 議 名	第20回文化芸術振興推進評議会	
日 時	平成29年 1月20日（金） 午後 4時00分～ 5時30分	
場 所	芸術文化会館（いちょうホール）第4会議室	
出席者氏名	評 議 員	白澤宏規・有賀万美・前田満寿美・宮崎珠子・飯塚栄子・五味渕栄子・寺山良子
	説 明 者	市民活動推進部長 立花等 学園都市文化課長 山野井寛之・学園都市文化課 課長補佐 南部かや
	事 務 局	学園都市文化課 主任 大野真由美・主事 田邊紀博
欠 席 者 氏 名	新堀俊明・鈴木雅徳・西川柳時・牧野彦市	
議 題	1 「（仮称）文化芸術振興条例」について 2 その他	
公開・非公開の別	「公開」	
非 公 開 理 由	-	
傍 聴 人 の 数	0人	
配 付 資 料 名	〔当日配付資料〕 条例資料 推-23「（仮称）八王子市文化芸術振興条例」の素案について 条例資料 推-24「（仮称）八王子市文化芸術振興条例」（素案）について のパブリックコメントの結果について 資料 1 文化芸術立国の実現を加速する文化政策（答申） 資料 2 都民ファーストでつくる「新しい東京」（抜粋）	

会 議 の 内 容	座長 前回の評議会を以って副座長が退任となり、副座長が不在となっているため、選任を行う必要がある。 「座長及び副座長は、評議員の互選により選任する」こととなっているが、推薦される方はいるか。 評議員 座長の意見はいかがか。 座長 それぞれの方にやっていただきたいと思うが、前田評議員にお願いしたいと考えている。どうか。 評議員一同 （了承） 座長 では、前田評議員を副座長として選任する。 【議題１】 「（仮称）文化芸術振興条例」について 事務局 【資料説明】 条例資料 推-23「（仮称）八王子市文化芸術振興条例」の素案について 条例資料 推-24「（仮称）八王子市文化芸術振興条例」（素案）についてのパブリックコメントの結果について 座長 まず、パブリックコメントについて意見はあるか。 評議員 最も意見の多かった「市の責務」についてはどのような意見が寄せられたのか。 事務局 具体的な事業の提案、予算について、新たな施設の建設などの意見があった。 評議員 予算について条例において明記するのは難しいと思う。
-----------	---

	評議員 一般の市民からすると条例というものがどういう位置づけなのか分からないことから個別の事業などの意見になるのではないかな。 座長 今回のパブリックコメントで出た個別の事業の提案は、条例には反映しないが、施策の検討をする上で、市民の意見として残しておく必要がある。 評議員 今回頂いたパブリックコメントを市民に対して、フィードバックする予定はあるかな。 事務局 頂いた意見と、意見に対する市の考え方をまとめ、ホームページを通じて公開していくとともに、個別の事業を検討する上で参考としていく。 評議員 意見を出した人に対して、個別にホームページに掲載した旨を伝えたい方がよいのではないかな。 事務局 パブリックコメントの資料に、頂いた意見と意見に対する市の考え方を公開する旨を記載させて頂いているが、改めて意見を頂いた方にホームページに掲載する旨を連絡する。 座長 続いて、「（仮称）文化芸術振興条例」（素案）について意見はあるかな。 座長 条例の項目が16までであることについて、冗長に感じる。 「7 文化芸術に触れる環境の整備」から「12 文化芸術活動の支援等のための公共施設の活用」について、「市民文化の振興に関わること」としてまとめることは出来ないかな。 事務局 本市の他の条例との整合も勘案しなければならないが、法制課と協議する。
--	--

	評議員 文章としては簡潔になり、分かりやすくなった。
	評議員 市民は具体的な取り組みを知りたいところであるが、条例を掲げているということを、市民に知って欲しい。
	事務局 条例制定後、条例制定を周知するとともに、文化芸術ビジョンについても広く市民のみなさまに周知していきたい。
	座長 他に意見はあるか。 (なし)
	【議題2】 その他
	事務局 【資料説明】 資料 1 文化芸術立国の実現を加速する文化政策（答申） 今後の施策を検討する上で「食文化の振興」について意見を伺いたい。
	座長 評議員の皆さまが「食文化」についてどのように考えているか、意見はあるか。
	評議員 国によって食文化の違いがあると思う。日本の食文化についていえば、マナーや、食器などの美しさが特徴だと思う。
	評議員 食文化について言えば、文化芸術の1つというより、民俗学の1つとして、市の広報等で伝えていくことでよいのではないか。
	評議員 海外に留学した経験があるが、海外にいた経験から、日本の食文化の素晴らしさを知った。

	評議員 食文化は国や家庭・宗教などによって異なってくるのではないか。 座長 国が食文化を考えたとき、食を通じて精神性や芸術性を汲み取ろうとすることではないか。 評議員 国の答申が出たことは、もう一度、食文化を見直すチャンスだと思う。 事務局 【資料説明】 資料２ 都民ファーストでつくる「新しい東京」（抜粋） 参考にご覧いただきたい。 （最後に年度末の会議に際して、一言ずつ評議員より発言を求め終了とした。）
--	--